

CMSC仙台11月10日

冬本番ダートトライアル

'96JMRC宮城県ダートシリーズ第4戦「CMSC仙台冬本番ダートトライアル」が、仙台ハイランドにて開催されました。宮城県シリーズ最終戦のこの大会。夜半に降った雨も上がり、天気は快晴。コースは絶好のコンディションとはいえませんでした。98台がエントリー。上位入賞、シリーズチャンプ目指して、熱戦が繰り広げられました。

今回はクロードクラスを設け、7クラスで競技が行われました。三菱車VS他社勢の激突が展開され、うち4クラスでミラージュ、ランサーが1位を獲得しました。大きな事故も無く、競技は無事終了。エントラント、オフィシャルにあたたかい芋煮が振舞われ、皆

競技後も盛り上がった最終戦



で暖まりました。

大抽選会では温泉旅館の宿泊券が、オフィシャルを交えてのジャンケン大会では優勝者に現金がプレゼントされるなど、競技終了後も大いに盛り上がりました。今回の開催にあたり、ご支援、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

2月11日に仙台ハイランドで「CMSC仙台耐寒ス



ノートライアル」の開催を予定しております。CMSC仙台初の試みですがクラブ員一同頑張りますので、皆様のご参加をお待ちしております。

(CMSC仙台 相沢葉子)

CMSC山形 赤羽政幸 ラリーオーストラリア参戦記

まず始めに私の海外ラリー遠征をサポートしていただいた皆様に心よりお礼を申し上げます。今回は2度目の海外ラリーチャレンジだったので、色々勉強する意味で、マネージャーをニュージーランド人、サービスはオーストラリア人3人、日本人3人というチーム体制でラリーに臨みました。

'96年は異常気象らしくレッキ中から雨が多く、危うくスタックしそうになったりしました。ラリー期間中もずっと雨、雨、雨。ドライコンディションを想定してタイヤの準備をしていたので、ウエット用のタイヤが2セット、しかもホイールとのバランス、サービス間の距離、SSの状況等で思うようにならず苦労しました。しか

雨中のラリーを無事完走

し、マネージメントがしっかりしていたのでよかったです。途中、リヤの足回りにダメージを受けたので修理に時間がかかりペナルティを受けましたが、その後は順調でラリーを完走することができました。

ラリーオーストラリアはオーガナイズもしっかりしていて、大勢のボランティアの人達も皆それぞれにラリーを楽しんでいるように見えました。機会があればまた'97年もチャレンジしたいと思います。



フィニッシュを迎えて思わず万歳。

CMSC大阪 岩下利勝 ラリーオーストラリア参戦記

WRC'96ラリーオーストラリアは「世界で最も美しい都市」と形容される西オーストラリアの州都パースをベースに9月13日から16日の4日間、3ステージで競われました。我々はランサーEVOIIIでグループN部門に出場しました。ラリーオーストラリアの特徴はその滑りやすい路面にあります。「ボールベアリングロード」と言われるパチンコ玉大の丸石が敷き詰められた路面は氷のように滑りやすい上、今回はかつてないほど雨が多く、スタックする程までコンディションが悪くなっていました。

第1ステージは13日18:30、パース市内をスタート。翌14日早朝に本格的に競技開始となり、南の田舎町コリーで折り返してパースに戻る698km(SS11)でした。この日は特に大きなトラブルも無く終了。しかしこの日すでに25台もリタイヤしていました。

第2ステージはパース東南、バニングスの森のステージをメインに460km(SS8)を行いました。この日我々はあまりにスリッピーな路面で、SS12ではパワステホースが外れ、コースオフで左リアドアを立木に当て、数分余りをロス。SS14ではハーフスピンで小さな木の橋で落ちかけ動けなくなり、まさにリタイア寸前。この日は大変な一日でした。

翌16日の第3ステージは402km(SS8)。ここまでの

美しい町でのラリー

幸運続きで無事フィニッシュを迎えることが出来ました。パース市内のゴール台に立った時には2人、本当に大きな安堵のため息が出ました。こうして総走行距離1560kmを走り切り、グループN部門16位になったのも日本から来てくれたサービスクルー達やオーストラリア人のサービスクルー全員の強力なバックアップのおかげです。また多くのスポンサーのご支援に対して感謝の気持ちでいっぱい。本当にありがとうございました。'97年もチャンスがあればまた挑戦します。



見事完走。グループN、16位岩下選手の走り。

CMSC島根 古藤浩美 コトの連続コーナー④





LIIクラス 大阪 小出久美子選手 2位 (全日本3位)



AIIクラス 群馬 倉持直美選手 24位 (全日本6位)



AIVクラス 浜松 伊藤祥充選手 20位 (D地区2位)



LIIクラス 浜松 西川美佳選手 8位 (D地区)



AIIIクラス 岐阜 三枝光博選手 6位 (全日本1位)



AIVクラス 香川 高竹優之選手 21位 (G地区1位)



AIIクラス 岐阜 篠田大作選手 優勝 (全日本2位)



AVクラス 山形 赤羽政幸選手 4位 (全日本6位)



AVクラス 香川 森新次選手 リタイア (G地区2位)



AIIクラス 浜松 相原保雄選手 4位 (全日本3位)



AVクラス 札幌 宝田芳浩選手 9位 (全日本2位)



CIIIクラス 山形 八島功敏選手 13位 (B地区1位)



AIIクラス 広島 佐々木優選手 10位 (F地区2位)



AVクラス 大阪 吉村修選手 11位 (全日本10位)



CIIIクラス 大阪 大竹公二選手 16位 (F地区2位)



AIIクラス 広島 岩根つもる選手 14位 (F地区1位)



AVクラス 岐阜 楠田正文選手 12位 (全日本9位)



Dクラス 広島 河内涉選手 3位 (全日本3位)



AIIクラス 香川 松原宏選手 21位 (G地区2位)



AVクラス 群馬 荒井信介選手 18位 (全日本4位)



Dクラス 大阪 秋間忠之選手 7位 (C地区2位)

道北の連覇当確。個人部門は如何に!

'96チャレンジカップ

終盤に入っても道北の勢いは落ちません。2位も大阪が守っていますが、福島急追がスゴイ。個人部

門は終盤に実力者がポイントを抑えてトップに立っています。果たして、結果は如何に!?

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
道北	833	1092	291		2216
大阪	609.5	526.5	233		1369
福島	328	423	561		1312
香川	495	472	344		1311
広島	254	523	453		1230
群馬	468.5	452	183.5		1104
帯広	376	353	313		1042
青森	351	454	233		1038
山形	311	220	462		993
浜松	286	224	267		777
岐阜	212.5	247	189.5		649
島根	103	181	160		444
札幌	141	185	83		409
埼玉	100	106	86		292
鹿児島	119	110	56		285
千葉	2	0	233		235
仙台	77	93.5	32		202.5
栃木	52	97	10		159
愛知	70	3	69		142
秋田	-	44	67		111
岩手	40	0	47		87

●ラリードライバー部門

鎌田卓麻	道北	220
田口幸宏	埼玉	216
丹羽浩道	千葉	165
鎌田豊	道北	157
細村謙一	群馬	137
奴田原文雄	札幌	137
原口真	鹿児島	135
大沢克行	帯広	108
小林康弘	帯広	107
中島律	広島	89

●ラリーナビゲーター部門

細村祐子	群馬	137
野村佐江子	広島	89
朝岡達也	愛知	76
生井重男	帯広	65
川村知恵	道北	64
伊吹浩明	帯広	60
中村洋次	帯広	48
柳館義和	秋田	32
速藤昇	仙台	29.5
対馬隆志	青森	26

●ダートトライアル部門

秋間忠之	大阪	701
小出久美子	大阪	515
高竹優之	香川	376
赤羽政幸	山形	321
須田行雄	福島	269
三浦正博	道北	266
伊藤祥充	浜松	256
宝田芳浩	札幌	247
松原宏	香川	244
森新次	香川	239

●ジムカーナ部門

小館久	青森	352
久保田明	青森	327
丹羽裕	道北	320
山下亘	道北	310
須田行雄	福島	283
大久保世	道北	282
大泉剛	福島	184
三崎朋弘	帯広	137
佐々木堅太郎	青森	122
平山敦朗	浜松	113

●レース部門

小川日出生	山形	186
高橋滋	仙台	118
笠原昌二	山形	106
内堀篤史	栃木	25
吉沼昭彦	栃木	25
川口法行	栃木	25

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選不通過も含む

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス)

但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル

ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ

レースにはミラージュカップ、NI耐久レースを含む

B = それ以外の競技会